

情熱あふれる ふるさと 青森づくり

県民だより

# あおもり

10

2009  
月号 No.117

編集発行/青森県広報広聴課

平成21年10月1日発行(偶数月1日発行)

特集 奥入瀬溪流エコツーリズム

みんなの「木づかい」で森林を元気に!・環境出前講座	P3
高齢者が、健やかで安心して暮らせる社会を目指して・DV防止と被害者保護	P4
秋冬のインフルエンザ対策	P5
県立つくしが丘病院が新しくなりました・青森県基本計画未来への挑戦	P6
イベント大特集・情熱青森!レポート・申吾のほっとコラム	P7
インフォメーション	P8



NPO法人十和田奥入瀬づくり大学と十和田西高等学校観光科2年の皆さん

情熱  
特集

青森の  
自然を守り魅力  
を伝えたい!

奥入瀬溪流観光ガイド

NPO法人十和田奥入瀬づくり大学  
郷づくり大学の皆さんに伺います。  
観光ガイドの養成講座を始めたきっかけは?

始めたきっかけは?

A. 若者を育て、  
地域づくりに  
役立てるためです。

Q. 十和田、奥入瀬、八甲田。この素晴らしい自然を、これまでとは違うもうひと大きな視点で、地域づくりに活かしたい。

そして、地元県立十和田西高等学校にある観光科の生徒を地域の財産として育て、若者の働く場を確保しようとしたNPO法人十和田奥入瀬づくり大学を立ち上げ、ガイドの養成を始めました。

奥入瀬溪流は、倒木があつたり苔が生えていたり、極めて原始性の強い森。これを歩くということは人間が地球上に生まれる前の環境を体験できるということです。ガイドの養成といつも、ただ知識を教えるのではなく、奥入瀬溪流を訪れた人たちと共に、感動する心を育てたいと思っています。

A. 溪流の自然美が  
永遠に続くことを

願っています。

奥入瀬溪流の魅力は、音だと思います。滝や川の水音、葉っぱが風に揺れたりさわめたりする音など。普段私たちには視覚に頼って暮らしていますが、奥入瀬溪流を歩けば聴覚に集中できます。いろんな自然の音に、心と身体が癒されると思うんです。

車の交通規制をするのは大変かも知れませんが、奥入瀬溪流はやはり自分の足で歩き、五感で自然を感じられる環境であってほしいと願っています。これからも奥入瀬の自然環境が守られ、美しい溪流と「ナチュラル」をめぐり味わうことができるよう、私たちにできる限り続けていきたいと考えています。

A. 奥入瀬溪流の  
素晴らしさを再発見  
できました。

十和田西高等学校の生徒さんに伺います。養成講座やボランティアガイドを体験して感じたことは?

十和田奥入瀬づくり大学の生徒さんに伺います。養成講座やボランティアガイドを体験して感じたことは?

十和田奥入瀬づくり大学の生徒さんに伺います。養成講座やボランティアガイドを体験して感じたことは?